

① 2018 年度の環境保全活動の実施状況・結果

関西エアポート神戸株式会社では環境負荷低減に向けて以下の4つの方針を設定しており、それぞれの方針のもとに取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。2018年度の結果は以下のとおりとなっております。

	方針	項目・目標	実施状況・結果	結果
1	気候変動への対応	エネルギー使用量 対前年度比1%削減	対前年度比7%削減	○
2		CO2 排出量 対前年度比1%削減	対前年度比19%削減	○
3	資源循環	上水使用量 対前年度比2%減	対前年度比5%減	○
4		廃棄物リサイクル率向上	リサイクル率向上	○
5	周辺環境との共生	適切な環境監視	航空機騒音監視の実施	○
6		生物多様性に配慮した環境創造	空港内の緑化維持	○
7	環境マネジメント	環境認証の取得	ACA Level 2 の取得	○
8		マネジメント体制の構築	KOBE エアポート環境推進協議会の設立	○

※ACA…Airport Carbon Accreditation

※具体的数値目標は、原単位あたりの数値です。

気候変動への対応の取り組みとして、不要な照明の消灯、空調設定温度管理の徹底を継続し、ターミナルビルの遮光・遮熱対策（ブラインド設置・窓ガラス面への遮熱塗料塗布）を実施した。

資源循環の取り組みとして、再生水・雨水利用の継続、ゼロペーパー活動を実施した。

周辺環境との共生の取り組みとして、航空機騒音の監視、ばい煙発生施設の適正管理、空港内の緑化維持を実施した。

環境マネジメントの取り組みとして、ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 2 を取得し、空港関連事業者と連携するために KOBE エアポート環境推進協議会を設立した。

2019 年度環境保全計画書

関西エアポート神戸株式会社

① 環境保全に関する基本方針

地域及び地球規模での環境問題について、関西エアポートは、地域社会及び地域のみなさまに対し、大きな責任を担っていると考えています。関西三空港の運営会社として、周辺地域、周辺生態系、気候への影響を最小限に留めた事業活動に取り組むとともに、地域社会と共生した空港の発展をめざします。また、当社は、人類にとって気候変動が最大の脅威と認識しています。19世紀以降、世界平均気温は既に1度上昇し、急速に上昇し続けています。2015年12月に気候変動枠組条約締約国会議(COP21)にて合意されました「パリ協定」に記載される環境目標の実現に向けた様々な温室効果ガス低減への取り組みを進めていくことが非常に大切です。

当社では、空港施設のエネルギー使用の効率化を進めるとともに、省エネルギーによる温室効果ガス排出量の低減に向けた建物施設の断熱や日射対策の向上、クールビズの導入などに取り組んでいます。また、空港内事業者、官公庁などのご協力のもと、エネルギー消費量の削減に向けた環境活動に取り組むとともに、空港内で使用するエネルギーに再生可能エネルギーを取り入れるための更なるクリーン発電設備の導入をめざしてまいります。

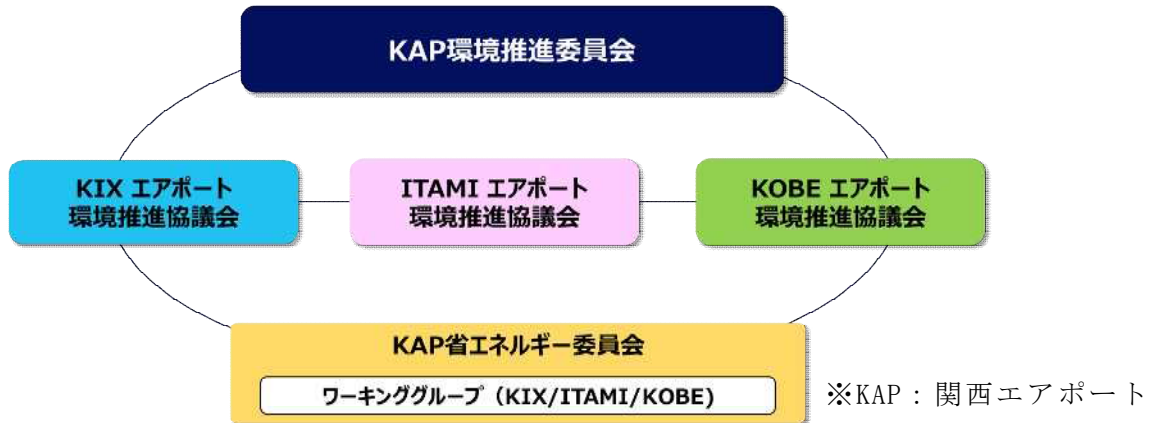
当社は、地域と共生し快適な環境を守る空港として、廃棄物や排水の処理を適切に実施し、厳格に管理していくことで環境への負荷を軽減してまいります。地方自治体、官公庁、航空会社などの空港内事業者の皆様と協力しながら、3R活動（削減、再使用、再生利用）を推し進め、空港内及び周辺水域の生物多様性に配慮した生物生息空間の創造に取り組めます。そして、クリーンエネルギーの利用を促進するため、水素エネルギーの利活用を積極的に推進してまいります。

環境に配慮した空港として発展していくことが、関西地域の発展に貢献するものと信じており、その活動をより一層促進していくため、2018年度から2022年度までの環境5ヵ年計画を新たに策定いたしました。

本環境計画では、環境負荷低減に向けて以下の4つの柱を設定しており、それぞれの柱のもとに私たちの今後の取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。



② 環境保全に関する組織の現況



③ 環境目標値及び取り組む環境保全活動

関西エアポート神戸株式会社では環境にやさしいスマートエアポートの実現に向けて、2019年度は以下の施策に取り組んでいきます。

A) 気候変動への対応

<目標>

- ・エネルギー使用量 対前年度比 1%削減
- ・CO₂排出量 対前年度比 1%削減

<取り組み内容>

- ・照明・空調運転の管理徹底
- ・室内照明のLED化

B) 資源循環

<目標>

- ・上水使用量 対前年度比 2%減
- ・廃棄物リサイクル率向上

<取り組み内容>

- ・再生水・雨水の利用の継続実施
- ・ゼロペーパー活動の実施、0A 不要紙の分別

C) 周辺環境との共生

<目標>

- ・適切な環境監視
- ・生物多様性に配慮した環境創造

<取り組み内容>

- ・航空機騒音の監視と公表
- ・ばい煙発生施設の適正管理

D) 環境マネジメント

<目標>

- ・環境認証の取得
- ・マネジメント体制の構築

<取り組み内容>

- ・ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 2 の維持
- ・事業者・他空港との連携

※具体的数値目標は、原単位あたりの数値です。